

プロトコール名 CDDP+TS-1/RT 併用療法

- 進行・再発癌                       術後補助化学療法                       術前補助化学療法  
 大量化学療法                       局所療法                       その他(RT併用 )

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	シスプラチン(CDDP)	60 mg/m <sup>2</sup>	div.	1時間	d1
2	TS-1	80 mg/m <sup>2</sup>	p.o.	朝夕内服	d 1~14
3	RT	全量60Gy			2Gy×30回

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	4週毎
総コース数	4コース
コース間での休薬の規定	WBCは3000/mm <sup>3</sup> 、好中球は1500/mm <sup>3</sup> 以上に回復しなかった場合

減量規定・中止基準	Grade4の血液毒性、Grade3以上の非血液毒性
投与量の増量規定	
投与期間の短縮規定	
コースによる変化	
1日の中での抗癌剤投与順	
プレメディケーション・ポストメディケーション	<プレメディケーション> グラニセトロン3mg+デキサメタゾン9.9mg +イメンド併用 <ハイドレーション> 必要

患者条件 CTCAE v.4.0

局所進行NSCLC、PS良好、年齢74歳以下、重篤な臓器障害なし

除外基準

- 進行期 NSCLC、根治的放射線治療が不可能、重篤な臓器障害あり
- ・TS-1、CDDP(または白金を含む製剤)に対し重篤な過敏症の既往歴あり
- ・重篤な骨髄抑制、腎障害、肝障害あり
- ・妊婦又は妊娠している可能性あり
- ・他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤(5-FU、UFT、フトラフル、フルツロン、ミフロール、ゼローダ 等)投与中
- ・フッ化ピリミジン系抗真菌剤(アンコチル)、フルシトシンを投与中

その他(特記事項)

進行期NSCLCに対するCDDP+TS-1レジメン(No.20)とは、CDDPの投与日が異なる